

令和6年3月7日

実行理事会だより（第10回）

福岡教育大学附属福岡小学校PTA

早春の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。第10回実行理事会を3月1日(金)に行いましたので、お知らせいたします。

1 PTA会長から

1年間の感謝とともに引き継ぎにあたっては、活動の意義を引き継いでいただきたいこと、九附連鹿児島大会の中では、制服やスマートフォンの取り扱い、PTA活動の変化等について情報交換ができたこと、横のつながりを大事にしながら附属学校の存在意義を考えていくこと等についてお話をいただいた。

2 各専門委員から

各委員会からは、1年間の活動の総括を中心に次年度の方向性についてお話をいただいた。

3 学校から

【教務主任から】

「コロナ前に戻るではなくコロナ後に進む」という新しいスタンダードをつくることができたのもPTAの皆様の創意工夫のおかげである。活動の精選・充実、ボランティアシステムの機能等成果の一方で、委員会ごとの課題には、本年度内に学校が代案を出し、新年度のスタート時には、改善された状態で臨んでいく。次年度の時制など新しい動きをミマモルメで発出する。

【研究部長から】

11月と2月の教育研究発表会には、総計943名の参加をいただいた。保護者の協力に感謝している。参加された方からの声として、子供たちの素敵な姿とともに、保護者の皆様への感謝の言葉があった。来年度の研究の方向性については、懇談の中で動画を使ってお伝えさせていただく。次年度もこれまで同様、保護者の方と同じ方向を向き、子供達と学びを深めていきたい。

【教頭から】

子供達に学校のよさを尋ねてみると、あらつフェスタ等PTAが関わってくださった多くの行事が挙がってくる。PTAの活動のおかげであると同時にさらに充実感のある委員会活動にするため、本年度変えたことで起きたことは何か、変えないことのよさは何かを整理し、次年度に向けて進めていただきたい。クラス費廃止や学級費の見直しがあり得ること、児童のきまり等について懇談で発信していく。

4 副校長から

副校長制度が廃止になる。副校長が校長になり校長が附属学校副部長に代わり、新しい呼称とともに役割の浸透を図る。本年度子供達も職員も気持ちよく運営することができたのは、保護者の皆様のおかげである。次年度からの開発研究においては、子供が一つのことを学んだ後にも新たな問いをつくり、広く情報を集め、深く吟味する姿を目指し、全国に発信する研究に挑戦していきたい。

5 校長から

全国的に期待の高い学校である。学校を支えていただくPTA活動は、やりたい人がやる活動であるが、子供のために環境を整えることは、やりがいのある活動でもある。PTA活動により教育環境を改善してもらい、研究に邁進してきた経緯や、過度な負担の軽減を両立できるように十分に議論を重ね、子供のために関わる時間は、人生の中で素晴らしい機会であることを捉えて無理なく進めていただきたい。

(文責 教務主任 大村)